

〈佐呂間町民憲章〉

自然の恵みを生かし
美しく住みよいまちをつくります

62. 1

賀正



新年のごあいさつ

明るい展望がもてる環境と

青年が定着できる

基礎づくりを!



佐呂間町長 船 木 長 一 郎

町民各位には、ご健勝で新春を迎えられ心からお慶び申し上げます。

ご案内のごとく、昨年の我が国経済は、自由貿易の激化、急激な円高の影響で依然不振を極め、本町の基幹産業であります農林漁業においても、産物流通の不円滑や生産抑制、価格の低迷などが商工業にも波及したことは、誠に遺憾でありました。

本町には直接ありません

が、北海道の石炭産業や国際規制による沖合漁業の減船、鉄鋼産業など北海道経済は、後退を余儀なくされた難課題の多い厳しい一年でありました。

築、スポーツ振興に必要な夜間照明施設、町道の大巾な改良舗装工事等々予定どおり完成致しました。ご協力の程、厚く感謝申し上げます。

新年度においても景気の回復は、期待できません。

そのような中ではありましたが、町民各位のご理解と議会の協力により、年度当初に計画しました町費負担の伴う国営・道営・団体の土地基盤整備をはじめ町内産物の加工開発研究センターの新設、と畜場の改

従って、国の財政は困難が予想されますが、町の将来展望にとって重要な施策である産業振興の基本対策町民福祉の向上、教育施設の充実、道路整備や観光開

発などを積極的に推進し、町民が明るい展望をもちながらご精進できる環境と次の時代をにう青年が定着できる基礎を確保するよう努力致します。

目下、六十二年度の具体的構想について職員ともども検討中であり、いずれ町広報等で詳しくお知らせ申し上げますが、困難な時こそ町民が智慧を出し合って協同の力で克服して参ることが肝要であります。

何卒、本年も変わらざるご支援を切にお願い申し上げますと共に、各位のご健勝ご繁栄をお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

謹賀新年

町議会

議長 片平俊男
副議長 斉藤公男

外議員・職員一同

町役場

町長 船木長一郎
助役 岸本 勲

外職員一同

教育委員会

委員長 杉本 磐
委員長 大島 満

外委員・職員一同

農業委員会

会長 森 利晴
会長代理 本田 政雄

外委員・職員一同

選挙管理委員会

委員長 外委員一同

監査委員

委員 宮崎 正義
委員 惣田 隆次

遠軽地区広域組合消防署佐呂間支署

団長 田中 喜重
支署長 宮田 憲彦

外団員・職員一同



新春のごあいさつ

議会活動に対する

一層のご理解とご協力を

佐呂間町議会議長

片平俊男

町民の皆さん明けましておめでとございます。

希望あふれる昭和六十二年の新春を皆様とともに元氣でお迎えますことを心からお慶び申し上げます。

昨年をいま静かに省りみますとき、貿易の不振、急激な円高による社会経済の急激な変遷の中で、本町の基幹産業である農業は、春の異状低温により冷害が心配されておりましたが、七月以降の高温によりほぼ平年並の作柄となり安堵したところがあります。

しかし、酪農は、牛乳の生産調整と乳価の低迷が続く、林業は、未だ消流の不振により不況の域を脱することができず、漁業についても、貝柱の輸出不振等が、商工業もまた、その余波を受けるなど極めて厳しい状況でありました。

また、長年私たち町民の足と

して利用されてまいりました、国鉄湧網線のパス転換が決定されるなど社会経済の変動の大きな年でありました。

しかし、厳しい財政状況の中で、佐呂間簡水三期拡張工事、町営グラウンドの夜間照明施設、と畜場の改築、町内産物の開発研究センター、土地基盤整備、道路整備などの事業が計画的に進められましたことは町民の皆様とともに喜びにたえないところであります。

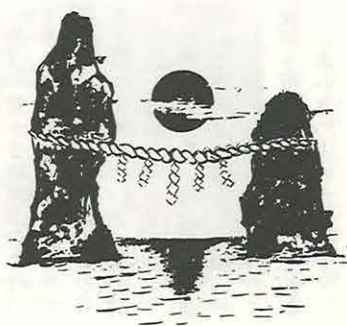
これらの施設につきましては有効な利用がなされますようお願いを申し上げます。

昭和六十二年も前年同様に国及び地方財政は、極めて厳しい状態が続くことが予想されますが、本年も昨年に引き続き懸案事項の実現に向け最大限の努力をいたし、明るい希望のもてる年にいたしたいと存じます。

また、町が作成したサロママ湖

観光開発基本構想の推進を図るため議会に観光問題調査特別委員会が構成され活動中でありますが、皆様のご意見ご要望を町政にまた観光行政に活かされまますよう、関係組織とも連携のうえ努力する覚悟であります。

議会活動に対する一層のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げますとともに、皆様方の益々のご健祥とご多幸を祈念申し上げます、新春のごあいさつといたします。



町政日誌

12月	湧網線交通対策委員会
2日	議
5日	運転免許証更新時講習会
6日	杉本繁氏叙勲祝賀会
7日	町PTA連合会研究大会
9日	商工会との行政懇談会
10日	例月出納検査
〃	寿大学閉校式
〃	文化講演会
11日	飲酒運転防止夜間啓発
13日	第二十三回農業委員会
15日	遠軽地区青年団体協議会創立十周年記念式典
17日	獣魂碑除幕式
17日	第四回定例町議会
22日	自治会長会議
30日	御用納め

年頭のごあいさつ



人間性豊かな

教育の町を

佐呂間町教育長 大島 満

あけましておめでとうござい
ます。

町民の皆さんと共に輝かしい
昭和六十二年の新春を健康でお
迎え出来ましたことは本当に喜
びに堪えません。

本町の教育文化施設は、町民
皆さんの積極的な協力により
逐次充実して参り、昨年ソフト
ボールの夜間照明施設の設置、
総合体育館の改修等大きな事業
が計画通り実施することが出来
ました。皆さんに深く感謝を申
し上げます。

今後の教育施設の整備を要す
る主たる事業は、町の総合計画
の中に取り入れてありますが、
特に佐呂間小学校の改築につい
ては、今年度より二ヶ年継続事

業で実施に向って努力したいと
思っています。

学校教育については、人間性
豊かな児童生徒の育成に重点を
置くことは勿論であります。が、
特に今年度は、網走管内複式学
校の研究大会が本町で開催する
計画がなされていますので、こ
れが研究体制の確立と併せて、
町内複式学校の教育の充実を図
って参りたいと思います。

また、学校の統合については
関係住民との協調を得て統廃合
を進めたいと考えています。

社会教育では、社会教育中期
計画（五ヶ年間）が昭和六十年
に樹立されていますので、関係
機関及び関係諸団体のご協力を
いただき計画に沿って推進した

いと思っています。

特に今年は、町体育協会及び
町婦連の設立三十周年の意義あ
る年でもあり、更に組織の強化
及び各種スポーツ活動を積極的
に進め、その充実を図る様に努
めたいと考えています。

また、今年町営のスケート場
の設置を致しましたので、関係
団体のご協力をいただき、これ
が管理運営について万全の体制
を作りスキー場の利用と合せて
町民の冬期スポーツの振興に努
めたいと思っています。

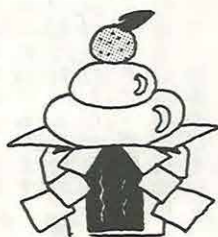
その他、図書館の分館（若佐
浜佐呂間）の内容充実を図り、
読書人口の輪を広げると共に、
文化諸団体の育成に努め明るい
文化的な町作りを進めたいと考

えています。

学校を始め、PTA、その他
関係団体等より、教育について
数多くの要望が寄せられています。

明るく豊かな教育文化の町づ
くりのため、町民の皆様方のご
理解とご協力をいただきながら
ご要望の実現について一層の努
力を致したいと考えています。

年頭にあたり、町民皆様の温
かいご理解とご協力をお願い申
し上げますと共に、皆様方のご
健勝を祈念申し上げまして新春
のごあいさついたします。



第4回氷上フェスティバル

62. 2. 22

浜佐呂間特設会場

冬の日を、サロマ湖の氷上で楽しみましょう。

× サロマひやく人会 ×

二十歳になったら

国民年金に加入しましょう

成人を迎えられる皆さん、おめでとうございます。

二十歳になると、成人として多くの権利が認められるとともに義務も課せられます。国民年金に加入するこ

ともその一つです。

今、「人生八十年時代」といわれ日本人の平均寿命は、どんどん延びています。

こうした状況のもとで、公的年金は老後の生活の支えとして大切な役目を果たしています。

若い皆さんにとって「年金」の話は遠い先のことで、自分には関係ないと思われるかも知れませんが、将来は確実に老後を迎えることになります。

また、万一、人生の途中で病気やケガなどで、働くことがで

きなくなることも考えられます。そのようなときになってあわて

ることのないよう、成人を機会に老後のことも考えてみたいものです。

成人の第一歩として、厚生年金や共済組合に加入していない人は、必ず国民年金に加入してください。加入の手続きは役場年金係で簡単にできます。

繰り上げ請求は

慎重に……

国民年金は六十歳になるまで保険料を納め、六十五歳から年金を受けることになっていますが、希望により六十五歳前に減額された年金を受けることもできる仕組みになっています。これが繰り上げ請求の制度です。減額される割合は、年金請求時の年齢によって定められており、この割合は生涯変わるものではありません。

「どちらが有利か」の判断はその尺度を何に求めるかによって異なるものと思われませんが、

生涯受給額（一生の間に受け取る年金の額）の比較をしてみますと、受給年数が長ければ長い程、繰り上げ請求は不利となっています。

誰にも避けることのできない老後をより必要度の高い時に少しでも高い保障を、これが年金制度の本来の趣旨であり、また賢い老後の生活設計ではないでしょうか。

繰り上げ請求をする時は、よく考えてからするようにしてください。

国民年金保険料は

毎月末日までに
納めましょう



税のしるべ

◎還付申告は

お早めに

所得税の還付申告は一月から受け付けています。

確定申告（二月十六日から）が始まりますと、申告相談などで大変混雑します。ので、還付申告はできるだけ早めにお済ませください。

還付金の受け取りには、口座振込をご利用ください。

申告書の書き方などわからないことがありましたら、テレホンサービス ☎ 〇一五七一 三一一二七〇〇番をご利用ください。



還付金の受け取りは口座振込で

◎所得税の確定申告は正しくお早目に

六十一年分の所得税の確定申告は、二月十六日から始まります。

申告期限は三月十六日ですが、期限間近になりますと税務署は大変混雑し、落ち着いて相談できなかったり、長時間お待ちいただくようなことにもなりかねませんので、確定申告はできるだけ早めにお済ませください。

〔正しい確定申告を〕

所得税は、自分の所得の状況を最もよく知っている納税者が、自ら税法に従って所得と税額を正しく計算して申告し、納税するという申告納税制度を採用しています。

昨年一年間の所得と税額を正しく計算し、お早目に申告と納税を行ってください。

地場産品開発研究センター完成



本町の地場産品の付加価値を高め、地域産業の振興と住民生活の向上をはかることを目的として建設が進められておりました「地場産品開発研究センター」が完成しました。

このセンターは、地場農畜水産物を有効に活用し、加工技術の研究開発、食生活改善のための調理実習等に使用できる設備が整っております。

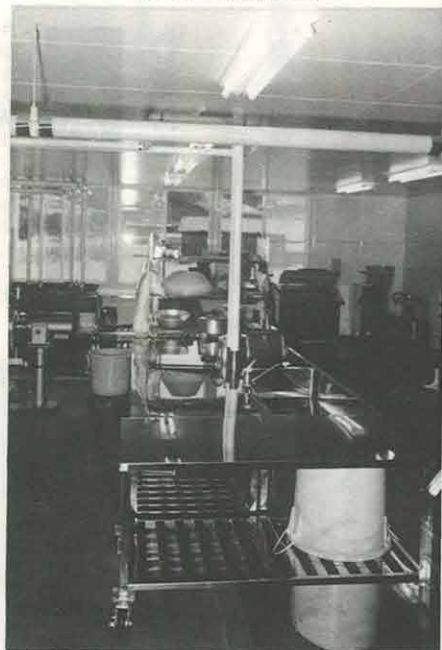
なお、本施設の利用方法等詳細につきましては広報二月号でお知らせ致します。



(休憩室兼会議室)



(ヒマワリ搾油室)



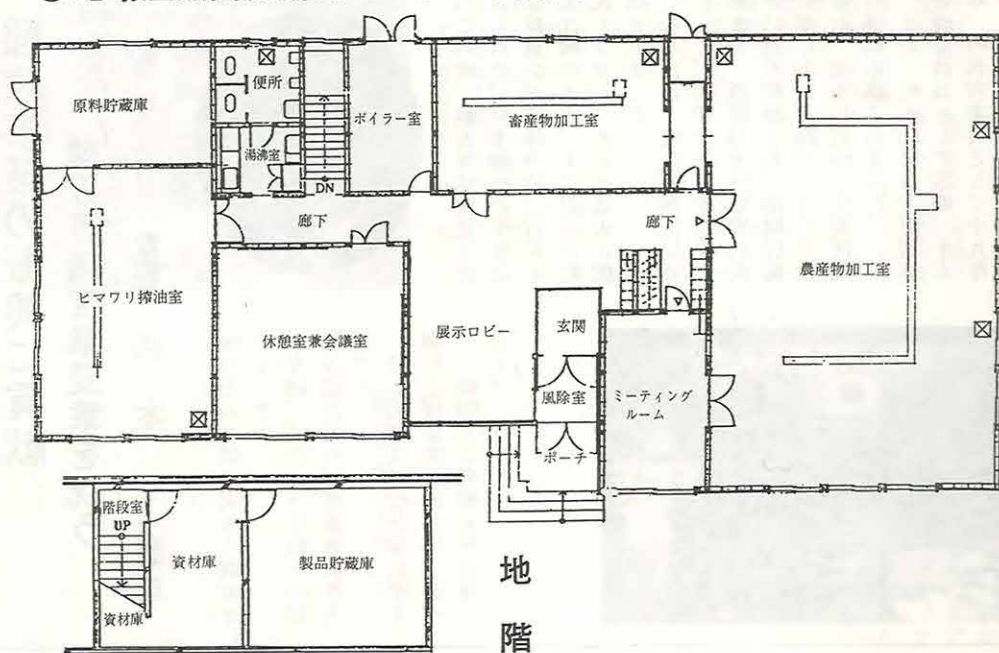
(農産物加工室)



(畜産物加工室)

●地場産品開発研究センター平面図

建物の面積 406.80㎡



階

地
階

まちの話題

第九回

佐呂間建設業協会

交通安全大会

十一月二十五日、産業会館講堂において、佐呂間建設業協会主催による第九回交通安全大会が開催されました。

大会では、まず最初に、交通事故による犠牲者に対し、黙とうをささげ、その後、七月二十四日から十月三十一日までの百日間にわたり行われた遠軽地区建設業協会連合会主催による「無事故・無違反競争」において



昨年に引き続き、みごと同協会が優勝されましたので、藤村遠軽警察署長より結城理事に表彰状と記念品が伝達されました。

つづいて、藤村警察署長、岸本町交通安全対策副本部長、高木交通安全協会佐呂間支部部長からの祝辞を受け、引き続き、木村遠軽警察署交通課長から、今年町内で発生した死亡事故の原因と事故防止についての講話を受けましたが、その中で、本町は、駐車違反と飲酒運転が非常に多く、運転者としてのモラルが管内でも最低という厳しい指摘がありました。

最後に、高橋光亜氏が、交通安全宣言文を朗読され、参加者全員、気持ちを新たに交通事故防止を誓い合いました。



幌岩小中学校生徒

図書館訪問

十一月二十五日、幌岩小中学校全校生徒約四十名が町立図書館を訪れました。

これは、日頃町立図書館を訪れ、本を借りたり、読む機会が少ないということで、今回初めて行ったものです。

生徒たちは、高橋館長から図書館の施設や利用方法について詳しく説明を受けた後、各本棚を見て回り、自分たちの読みたい本をそれぞれ借りていきました。

このような体験を通して、本好きで想像性豊かな子供に育ってほしいものです。



郵政事業の振興に貢献

勲五等瑞宝章受章を祝う

宮前町 杉本 磐氏



この度、勲五等瑞宝章を受けられた、杉本磐氏の受章記念祝賀会が関係者約二百五十名出席のもと、十二月六日町民センターにおいて盛大に開催されました。

杉本氏は、佐呂間郵便局長として、昭和十七年から六十年まで、通算四十三年間の長きに亘り精励され、地域住民に親しまれる局づくりに専念され、地域に密着した郵便局の基礎を創られました。

また、町内的には、町選挙管理委員長として四期、十六年、町教育委員として十九年つとめられ、昭和四十八年から委員長として活躍中で、教育の振興と文化の発展や地

域社会の進展に大きく貢献されています。

今回、このような数々の功績が認められ、受章されたものです。

杉本氏には、心からお祝いを申し上げますとともに、益々のご健勝とご発展を祈念致します。



小型動力ポンプ付

水槽車購入

十一月二十七日、消防支署が小型動力ポンプ付水槽車を購入しました。

この水槽車は、初期消火活動を円滑に行うために購入したもので、今までのタンク車の三倍以上の水積載能力があります。



本格的な冬を迎え、空気が乾燥し、火を使うことが多くなっています。

町民の皆さんも、火の始末には十分注意しましょう。

第十二回

町民剣道大会

十一月三十日、佐呂間町剣道協会主催による第十二回町民剣道大会が、総合体育館において行われました。

小学生から一般まで、総勢百八十九名が参加し、団体戦、個人戦に熱の入った試合が繰り広げられました。

なお、結果は次の通りです。

●団体戦

●小学生男子の部

- 一位 佐呂間Bチーム
- 二位 佐呂間Dチーム
- 三位 浜佐呂間Aチーム

●小学生女子の部

- 一位 幌岩チーム
- 二位 米チーム
- 三位 佐呂間Aチーム

●中学生男子の部

- 一位 佐呂間チーム
- 二位 若佐Aチーム
- 三位 幌岩チーム
- 高校・一般の部
- 一位 佐呂間Aチーム
- 二位 米Aチーム
- 三位 佐呂間Bチーム

●個人戦

- 小学生低学年の部
- 一位 森岡大貴

- 二位 長屋尚宏
- 三位 亀井摩貴子

●小学生高学年男子の部

- 一位 鈴木秀紀
- 二位 吉野慶英
- 三位 伊丹剛

●小学生高学年女子の部

- 一位 中村紀恵
- 二位 大山真紀子
- 三位 寺本佳寿美

●中学生男子の部

- 一位 鈴木啓之
- 二位 山本智也
- 三位 大川敏治

●中学生女子の部

- 一位 工藤由美子
- 二位 中村律子
- 三位 筒井登美子

●一般男子の部

- 一位 永井常幸
- 二位 石川昭三
- 三位 石田智張

●一般女子の部

- 一位 田中道子
- 二位 武田知亜紀
- 三位 佐々木光子

- 渡部美香

おめでとう

地区青協十周年

佐呂間町、生田原町、湧別町、上湧別町、丸瀬布町の五町の青年団体で組織されている遠軽地区青年団体協議会が本年創立十周年を迎え、十二月十三日に冬期青年大会とあわせて佐呂間町を会場に、来賓、OB、会員等約百名が出席して記念式典が挙行されました。

記念式典では、これまでの功績と尽力に対し歴代会長の表彰記念スライドの上映、舞踊・郷土芸能などのアトラクションも披露されました。また、当日十年間の歩みを綴った記念誌「躍進」が出席者に贈られ、地区青



協に関わった人たちが、感慨深く目を通していました。式典のあと交歓会が開かれ、先輩と現会員は、懐かしい話に花が咲き、十年の思い出をいつまでも語り合いました。その後、アマチュアバンドのコンサートもあり、十周年の式典を一層盛りあげていました。

遠軽地区青協では、「地域に根ざした活動」を重点に活動が続けています。より多くの青年が地区青協に加盟し、遠軽地区発展の原動力となるよう、今後ますますの努力を期待したいものです。

思い思いの

気持ちを胸に

「オホーツク忘年会」

恒例になった「オホーツク忘年会」が、十二月十三日、湧網線車中で行われました。

午後七時四十分佐呂間駅に到着した列車に、「芸者姿」、「森の石松」などに仮装した人や家族連れなど総勢百五十名ほどが車中に乗り込み、佐呂間・常呂間往復の旅を楽しみました。車中では、さつき酒宴が始



まり、各自思い思いの肴を持参し、廃止まであと三ヶ月足らずの湧網線の思い出話に花を咲かせていました。

また、午後八時には、「オホーツク万歳」と叫び、氣勢を上げていました。

毎日の新聞配達

「ご苦労さま」

「新聞配達少年」

激励会

今年も「勤労感謝の日」の十一月二十三日に町民センターにおいて新聞配達少年激励会が行われました。

この激励会は、毎日休みなく



各家庭に新聞を配達する新聞配達少年の日頃の苦労をねぎらうために毎年行われております。

激励会では、町助役や来賓の方々から激励と感謝のことばがあり、また、新聞少年を代表し佐呂間高校一年の木船博幸君がお礼のことばを述べました。その後、昼食をとりながら日頃の苦労話など懇談のあとクイズなどを行い楽しいひとときを過ぎました。また、この席上、新聞配達四年勤続の方々五名に、表彰状と記念品が贈られました。

- ・佐呂間高校三年 城岡 昌樹
- ・ 二年 宗村 政彦
- ・ 一年 木船 博幸
- ・ 一年 山崎 哲也
- ・ 佐呂間中学校一年 木船 孝幸

西富勤労者団地

町内会

道衛生団体連合会から

環境美化表彰

この度、西富勤労者団地町内会が、財団法人北海道衛生団体連合会から表彰され、十二月十五日、遠軽地区衛生団体連合会会長工藤孝さんから表彰状が伝達されました。

この表彰は、地域内の環境美化の推進に対し表彰されるもので、西富勤労者団地町内会は、昨年行われた全道コンクールで優秀と認められたものです。

これからも、町内環境美化の推進のために頑張ってください



お知らせ

町や関係機関からの
お知らせ、行事の案
内をのせています。

運転免許証

更新時講習会

▽日時 二月五日(木)
午後六時から

▽場所 町民センター集会室

※講習は、有効期限(誕生日)の一年前から受講できます。

更新手続きは、有効期限の一ヶ月前からです。

なお、受講される方は、免許証、筆記用具をご持参ください

(交通安全協会佐呂間支部)

佐呂間保育所

入所児募集

昭和六十二年度町立佐呂間保育所の入所児童を次の要領で募集します。

▽入所資格

①母親が勤めに出ているため
幼児の保育ができず、同居
の方もその幼児の保育をす
ることができない場合

②母親が自宅で幼児と離れて
家事以外の仕事をしている
ため幼児の保育ができず、
同居の方もその幼児の保育
をすることができない場合
(ただし、父親がその仕事
に従事しており、そのため
使用人がいる場合は除きま
す。)

③母親がいない家庭で、同居
の方もその幼児を保育する
ことのできない場合

④母親が止むを得ない理由(お産、病気等)のため幼児の
保育ができず、同居の方も
その幼児の保育ができな
い場合

⑤家族が長期にわたり病気な
どで母親が看病しているた
め、幼児の保育ができず、
同居の方もその幼児の保育
ができない場合

⑥特別災害などの不幸があり
復旧されるまでの間、幼児
を保育できない場合

⑦保育所への通所可能な幼児
⑧集団生活ができ、現在病氣
のない幼児

※年齢区分は、昭和六十一年
四月一日において、満一歳

以上で入学前の幼児です。
〔未満児(一、二歳児)に
ついては、歩行できること
が原則です。〕

入所は、家族構成、母親の
状態、家庭環境等により決
定されます。また、定員な
どの事情により、希望者全
員を入所させることができ
ない場合は、保育を必要と
する度が高い児童より入
所していただくことになり
ます。

▽申込期間

一月七日から一月末日まで

▽入所募集人員 百名

▽申込先及び添付書類

佐呂間保育所及び役場民生課
社会係に申込用紙がありま
すので、諸事項を記入の上佐呂
間保育所へ申し込んでくだ
さい。

なお、給与所得者は、昭和六
十年分給与所得の源泉徴収票
及び勤務先の就労証明書を添
付してください。

▽保育料

申込みされた世帯の所得課税
額の状態決定されますので
申込み後調査の上後日決定通
知を送付します。

その他詳しいことは、役場民
生課社会係(☎二二三三一
一)へお問い合わせください。

町立へき地保育所 入所児募集

昭和六十二年度町立へき地保
育所の入所児童を次の要領で募
集します。

▽入所資格

①母親の労働又は病気、その
他の理由で日々保育に欠け
る幼児

②保育所への通所可能な幼児
③集団生活ができ、現在病氣
のない幼児

なお、定員を超えた場合は
保育を必要とする度が高い
児童より、入所していた
だくこととなります。

▽申込期間

二月一日から二月二十日まで

▽入所募集人員

栄 保育所 六十名

若 佐 保育所 六十名

浜佐呂間保育所 六十名

富武士 保育所 五十名

若 里 保育所 五十名

年齢区分は、昭和六十二年四
月一日において満三歳以上で

入学前の幼児です。

なお、保育期間中に満三歳に
達し日々保育に欠ける幼児に
ついては、満三歳に達した日
より入所できます。

▽申込み及び添付書類

役場民生課社会係、若佐支所
浜佐呂間出張所に申込用紙が
ありますので諸事項を記入し
て申し込んでください。

なお、給与所得者は、昭和六
十年分給与所得の源泉徴収票
を添付してください。

▽保育料

申し込みされた世帯の所得課
税額の状態により決定されま
すので、申込み後調査して、
後日決字通知を送付します。
その他詳しいことは、役場民
生課社会係(☎二二三三一
一)へお問い合わせください。

町立佐呂間幼稚園

入園児募集

昭和六十二年度佐呂間幼稚園
の入園児を次の要領で募集致し
ます。

なお、幼稚園は学校教育法に
基づき設置されていますが、義
務教育ではありませんので、ご
了解願います。

▽入園資格

満四歳から小学校就学の始期
に達するまでの幼児で、通園
可能な幼児

・四歳児 昭和五十七年四月二
日から、昭和五十八
年四月一日までに産

・五歳児 まれた幼児
昭和五十六年四月二日から、昭和五十七年四月一日までに産まれた幼児

▽入園募集人員

募集人員は、昭和六十二年四月一日を基準とした満年齢区分により学級編成することとします。

ただし、募集人員が定員に満たない場合は、全員入園させることとし、定員を超えた場合は、選考のうえ入園を決定します。

・四歳時 一学級 二十五名
・五歳時 一学級 二十五名

▽申込方法

教育委員会に申込用紙があり、ますので、印鑑持参の上、お申し込みください。

▽申込期間

昭和六十二年二月一日から二月十五日まで

▽入園料及び保育料

入園料 三千五百円
(入園の際)

・保育料 (月額) 五千元

▽その他

お問い合わせは、教育委員会まで (二二二二五五)

特別生活資金の貸付のお知らせ

福祉年金等を受給する老人、心身障害者及び特定疾患患者世帯の福祉の向上を図るため、燃料費など冬の生活を確保する資金を必要とする世帯に対し、貸付けられます。

▽貸付対象世帯

一、お年寄りの世帯

・老齢福祉年金を受給している七十歳以上(障害のある方は六十五歳)の方で次の世帯
(一)単身
(二)六十歳以上の方と同居している老人世帯
(三)十八歳未満の児童と同居している老人世帯

二、心身障害者の世帯

・国民年金法に基づく障害福祉年金から裁定替えされた障害基礎年金が特別児童扶養手当を受給している次の世帯
(一)夫婦のどちらかが障害者の世帯ただし、配偶者の所得が老齢福祉年金の支給停止限度額より低い世帯
(二)二十歳未満の子どもが重度の障害児である世帯

三、母子世帯

・母子福祉年金、準母子福祉年金、児童扶養手当のいずれかを受給している母子世帯

四、難病患者のいる世帯

・特定疾患患者として、医療受給者証又は患者認定書を受けている次の世帯
(一)夫婦のどちらかが患者の世帯
(二)二十歳未満の子どもが患者の世帯

▽貸付金額

一世帯当たり五万円

▽申込期間

昭和六十二年二月二十日まで

▽償還期間

貸付日の属する月の翌月の一日から十ヶ月以内

▽貸付利率

無利子

▽担保

無し

▽保証人

一人

※詳しくは、佐呂間町社会福祉協議会(民生課社会係)まで

新しい民生(児童)委員が決まりました

任期満了にともない新しい民生(児童)委員が十二月一日付で決まり、厚生大臣並びに北海道知事から委嘱を受けました。

新しい民生委員は、今後三年間町内地域の社会福祉の推進役として老人や児童をはじめ社会福祉にかかわる多くの方々の援護、指導にあたり、行政と住民の橋渡し役として各地域を担当して活動していただきますので生活上の心配ごと等お気軽にご相談ください。

- | | |
|------|----------|
| 共 立 | 橋田美重子(再) |
| 大 成 | 加藤 重義(再) |
| 啓 生 | 三好 元久(再) |
| 栃 木 | 松浦 勇(再) |
| 若 佐 | 山口 忠雄(再) |
| 川 西 | 中島 正夫(再) |
| 武 士 | 近藤 富幸(再) |
| 富 丘 | 川又 利夫(新) |
| 朝 日 | 真如 和仁(新) |
| 西 富 | 山下 享(再) |
| 西富公住 | 服部利八郎(再) |
| 宮前町 | 相田 俊子(再) |
| 幸 町 | 幸松 良茂(再) |
| 永代町 | 北村 舜襄(再) |
| 東 | 向井原文雄(新) |

カレンダー掲載用写真募集

- ▶受付期間 62年9月20日まで
- ▶受付場所 佐呂間町商工会 ☎ 2-3448

※フィルムは、必ずリバーサルフィルムをご使用ください。

- | | | | | | | |
|-------|-------|---------|----------|----------|----------|----------|
| 北 | 若里 | 富武士 | 幌岩 | 浜佐呂間 | 仁倉 | 知来 |
| 川又 | 橋本 | 鍋下一夫(新) | 小向徳太郎(再) | 村岡 和義(再) | 大塚 市雄(再) | 笠井 照雄(再) |
| 義夫(新) | 利之(再) | 道(再) | | | | |

社会教育だより

町民講座

受講生募集

一月より、左記の町民講座を開講致します。初心者大歓迎です。お誘い合せの上、教育委員会社会教育係（二一二五五）までお申込みください。

各教室とも

(一)受講料は無料

(二)十八時三十分から二時間程度

(三)締切 一月二十二日(木)

(四)定員二十名 定員になりしだい締切ります。

七宝焼教室

・浜佐呂間教室

場所 浜佐呂間公民館

期日 一月二十六・二月二
・九・十六・二十三
日(各月曜日)

材料費 一個四五百円程度

講師 未定

・佐呂間教室

場所 町民センター

期日 一月二十七・二月三
・十・十七・二十四
日(各火曜日)

材料費 一個四五百円程度

一個四五百円程度

講師 未定

・藤工芸教室

場所 若佐公民館

期日 一月二十九・二月五
・十二・十九・二十
六日(各木曜日)

材料費 千二百円

講師 高橋和氏

・絵画教室(油絵)

場所 町民センター

期日 一月三十・二月六
・十三・二十・二十七
日(各金曜日)

講師 大槻哲也氏

用具 キャンパス代自己負担

※親切指導保証、あなたの参加を心からお待ちしています。

高令者文化展

開催決定

第一回高令者文化展については、先月号でお知らせしましたが、次の通り決定しましたので作品の応募、ご来場宜しくお願ひします。

展示期間 六十二年二月十六日

から三月十四日まで

(九時～十七時)

展示場所 老人福祉センター

募集作品 写真、絵画、書道、押絵、陶芸、木彫、藤工芸、各種手芸、短歌、俳句、等

出品制限 一人二作品以内

出品場所 老人福祉センター

募集期間 一月十六日から

二月十日まで

対象 町内に在住する六十

歳以上の方しか出品

できません。

※不明な点は、教育委員会社会

教育係へお問い合わせください

全町婦人の集い

二月十五日開催

教育委員会と町婦人行動計画

推進協議会(会長船木馨氏・十

団体加盟)が主催する、第五回

全町婦人の集いが、二月十五日

(日)町民センターにおいて開

催されることに決定しました。

この集いは、町内の婦人が一

堂に会し、学習と交流を目的に

開催するもので、町内に在の婦

人であればどなたでも参加でき

ます。日程等は次の通りです。

奮ってご参加ください。

・受付

九時三十分～十時

・開会式

十時～十時二十分

・講義

十時二十分～十二時

〇くらしと年金

・新しい年金制度

・これだけは知っておきたい

年金の知識

講師 道消費者協会

消費コンサルタント

・昼食

十二時十三時

・レクリエーション

十三時～十四時三十分

・リズム体操

指導 遠軽町体育指導委員

井戸 鉦子氏

・閉会式

十四時三十分

持ち物 筆記用具・上靴

参加料 無料

参加申込み 二月十一日までに

教育委員会社会教

育係まで申し込ん

でください。

見事な演技を披露

冬期青年大会

働く青年たちの文化活動を発

表する第十回遠軽地区冬期青年

大会が、十二月十三、十四の両

日佐呂間町町民センターで開か

れました。

遠軽地区青年団体協議会に加

盟している五町の団体から約百

人が参加し、意見発表、舞踊、

合唱、演劇の四種目を披露し練

習の成果を競いあいました。

二日めに行われた演劇の部で

は、人間の生き方をテーマにし

た作品や世の中を風刺した作品

など青年らしいテーマで上演さ



この大会の成績は次のとおり
総合優勝 湧別町青協
総合二位 佐呂間町青協
総合三位 丸瀬布町青年会
それぞれの部門の最優秀賞に
輝いた青年は、一月七日、十八
日湧別町で開催される網走支庁
管内冬期青年大会に出場するこ
とが決まっています。

豊田泰光氏の

文化講演会終了

恒例の文化講演会が、十二月十日、教育委員会・佐高PTAの主催で開催されました。

講師は、元プロ野球西鉄ライオンズ（現西武）の強打者で、大下、中西、稲尾等と西鉄の黄金時代を築いた豊田泰光氏。

豊田氏は「チームワークとリーダーシップ」を勝つための条件として、自分の任務を確実に果たすこと、自分には厳しく目的をもって練習すること、ベストコンディションを保つこともチームワークの重要な一つで



熱弁をふるう豊田氏

あり、傷を舐め合うようなチームは弱者の集団である。などと一時間半にわたり熱弁をふるいました。

会場には多くの佐高野球部員が出席、講演終了後、豊田氏から久須田主将にサイン入り色紙が手渡され、励ましの言葉もいただき、二百五十人の来場者から盛んな拍手を受けていました

ちびっ子球児眼を輝かせ

少年野球教室終了

文化講演会で来町した豊田泰光氏（元西鉄ライオンズ遊撃手・現野球評論家）が、講演会に先立ち町内の四つの野球少年団員を集め野球教室を開きました。この教室には約百名のちびっ子球児と十数名の指導者が参加。ランニング・ストレッチ体操、バッティングの基本理論と続き最後は豊田氏自らトスを上げて子供達が打つトスバッティング「もつと腕を伸ばして!!」「ポイントをもつと前に置いて」等適切なアドバイスを受け、鋭い打球を放っていました。

教室終了後、豊田氏から各少年団へサイン色紙をプレゼント。少年団毎に豊田氏を囲んで記念撮影、全ての日程を終了しました。

二時間程の教室でしたが、元プロ選手とのふれ合いは子供達に大きな夢と希望を与え、明日からの練習へ新たな闘志をかき



ボールはここでとらえる…豊田氏

たさせる、素晴らしい野球教室となりました。

着付教室終了

十一月七日から毎週金曜日開講していた着付教室が、十二月十二日終了しました。

二年目を迎えた着付教室は好



仕上げはやっぱり講師?

評で、講師の坂本ミチさん（永代町）を中心に、和やかな雰囲気の中で進められ、(一)自分で着られること、(二)長い間着ていても疲れない着方をテーマに学習しました。

料理教室

各コース好評

お正月料理（十二月六日）

家庭に新しい正月料理を、と講師に「江戸っ子」の武田勉氏をお招きし、開催しました。

料理は町民センターに焼物の設備がないため、煮物が中心にプロの腕前を次々と披露、参加者からは溜息とも喚声ともつかぬ声が何回も……。

皆さんの中には、ここで習った正月料理を今春口にされる方



正月料理…イモの皮むきから



ケーキのかざりつけ

が何人もいることと思います。クリスマスケーキ（同十三日）家庭で手づくりのケーキでクリスマスをお祝い、と生活改良普及員の小亀なお恵さんを講師にお招きし、開催しました。

スポンジを焼き、手づくりのクリームを塗り、アラザンやミックスチョコスプレーなどで飾りつけ、みごとにケーキができました。

試食会では「美味しい」を連発、楽しいケーキづくりでした。へお詫び」

料理教室（二コース）、着付教室とも先着順に受け付けるため、定員をオーバーし、お断りした方も多数出ました。本年度受講できなかった方は、次年度に受講されますよう、ご案内とお詫びを申し上げます。

おでかけは心のカギと家のカギ 標語・ポスター入選作品発表

遠軽地区防犯協会佐呂間支部と、社会を明るくする運動実行委員会が主催し「防犯・社会を明るくする運動」の事業の一環として実施しました防犯啓発用作文・ポスター・標語の募集に多数の作品が応募され、この度審査会が行われ入選作品が決定致しましたのでお知らせします。多数の応募ありがとうございました。

(なお、作文の応募はありませんでした。)

〈標語の部〉

●小学生

- ・出かける前、必ずかけよう家のカギ
- ・幌岩小六年 井上 信三
- ・ちよつとの出かけもカギかけて
- ・幌岩小六年 中村 紀恵

●中学生

- ・念には念を、家のカギ
- ・若佐中一年 三好 規公
- ・犯罪ゼロでみんなの町
- ・若佐中一年 結城あけみ
- ・夜の道、一人で行かない行かせない

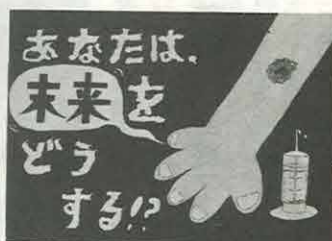
●高校生

- ・闇の道、歩まず明るい明日の道
- ・一年 小野江芳幸
- ・犯罪は心のスキをねらっている
- ・一年 山原 光広
- ・それはだめ、万引きしようとする心
- ・一年 矢野 敦
- ・犯罪を、なくす目、守る手、やさしい心
- ・一年 高井 聡
- ・「やかましい」母の声も君のため

- ・若佐中一年 湯本 恭子
- ・家庭では、家族の絆を大切に
- ・若佐中一年 源藤 智之
- ・おでかけは、心のカギと家のカギ
- ・若佐中一年 林 かおり
- ・非行の元 夜遊びやめて明るい家庭
- ・若佐中一年 沢村 新司
- ・非行の芽、見つけて論ず親の愛
- ・若佐中二年 国井 薫
- ・非行の道、親の一言ものを言う
- ・幌岩中三年 工藤由美子



若中1年 結城あけみ



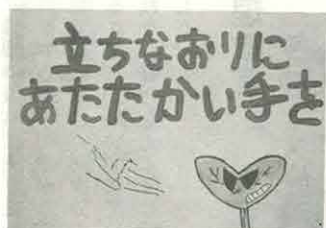
若中1年 源藤 智之



若中1年 湯本恭子

〈ポスターの部〉

- ・一年 山下 智喜
- ・明るい笑顔とやさしい言葉が非行を防ぐ
- ・二年 渡部ゆかり
- ・「いけないよ」その一言で明



若中2年 十亀 亜矢



若中2年 高橋さおり



若中2年 中谷一宏

- ・るい未来
- ・二年 石塚 宏樹
- ・断ち切ろう、心に宿る悪の元
- ・二年 宇佐 幸晴



幌岩中2年 亀井 千晶



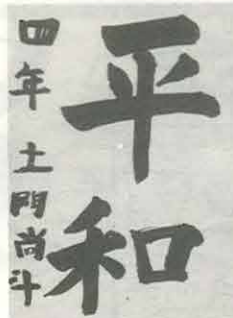
若中2年 峯崎 清子



若中2年 田村直美

ぼくとわたしの作品

今月は、浜佐呂間小学校のお友達作品を紹介します。



四年 土門 尚斗
筆づかいもよく、力づよく書
けている。



六年 野崎 こずえ
思いきり、のびのびと大きく
力強く書けている。
筆のうごきが実によい。



三年 真如 彩香
うさぎとかめの、かけっこの
様子がわかるように、のびのび
とよく描けています。



五年 野川 友美
校庭の様子を描いたものです
が、バックの校舎と手前の花畑
の関係をよく見ながらしっかり
描いた作品です。

ベビーフェイス



宮前町 和田 誠さん

二男 健 太ちゃん

昭和六十年十一月二十五日生

朝から晩まで引出し、台所
ゴミ箱から、クツシタ、お鍋
ゴミなどを手当りしだい次か
ら次と引っ張り出してくれる
のが我家の二男坊「健太」で

ベビーフェイス

原稿募集

「ベビーフェイス」のコー
ナーでは、町内の赤ちゃんを
紹介しています。

あなたのかわいいお子さん
のよい思い出として町広報で
紹介してみたいかがですか
このコーナーで募集してい
る赤ちゃんは、おおむね二歳
までですので、奮って応募く

す。

十一月二十五日で満一歳に
なりましたが、歩くのは、二
三步、言葉は、アーアー、ウ
ーウーの唸声だけ、でもおや
つの時は、お姉ちゃん、お兄
ちゃんにまけずに、しっかり
自分の分を握って逃げて行く
姿は、なかなかのものです。
春になり、雪がとける頃には
歩くのも上手になつていろ
でしよう。

泥ん子になつて、お姉ちゃ
ん、お兄ちゃんたちと元気に
遊んで下さいね。

お母さん毎日洗濯頑張りが
す。

下さい。

応募される方は、赤ちゃん
の写真一枚を添え、親の氏名
及び赤ちゃんの名前（ふりが
なをつけてください）と生年
月日、続柄、生れてからのエ
ピソードやユニークな話題な
どを二百字程度にまとめて、
役場企画調査室広報係までお
送りください。
掲載後、写真及び原稿は必
ずお返し致します。

（企画調査室広報係）

「ちょっと一杯」…「飲酒運転」それであなたは 人間失格

本町は遠軽署管内で飲酒運転による
検挙者が1番多い町です。

飲酒運転は、絶対やめましょう

佐呂間町企業組合

からのお知らせ

佐呂間町企業組合の昭和六十一年度冬期職業講習会受付と第九回総会を次のとおり行います

▽場所

町民センター集會室

▽受付

一月二十日午前九時から十時まで受付いたします(対象者は特別指定業種の認定された方は全員です)

▽総会

十時から同じ場所で行います
※詳しいことは、事務局渡部ヨシ子(☎二二三四一四)までお問い合わせください。
(佐呂間町企業組合)

戦傷病者等の妻及び戦没者等の妻に対し 特別給付金が支給されます

一、戦傷病者等の妻に対する特別給付支給法の一部が改正され、次に掲げる方に支給されます。

▽支給対象者

- (一)昭和五十八年四月一日及び昭和六十一年十月一日に、第五款症以上の増加恩給等を受けている戦傷病者の妻
 - (二)夫である戦傷病者が昭和五十八年三月三十一日までに亡くなった方で、昭和六十一年五月に国債の償還を全部終了した方
- 二、戦没者等の妻に対する特別給付支給法の一部が改正され、次に掲げる方に支給されます
- ▽支給対象者
- (一)第四回特別給付金国庫債券

(は号)の最終償還を終えた戦没者等の妻

(二)第六回特別給付金国庫債券(い号)、第二回特別給付金国庫債券(ぬ号)、第十一回特別給付金国庫債券(い号)の最終償還を終えた戦傷病者等の妻で当該戦傷病者が昭和五十八年三月三十一日までに死亡したことにより、遺族年金、公務扶助料等の受給権を有するに至った戦没者等の妻

▽留意事項

- 請求期限は、昭和六十四年九月三十日までとなっています
- ▽受付場所及び照会先
役場民生課社会係

さわやか 君

西村 宗



ご 寄 付

ありがとうございました

- ▽香典返しを廃して
- 社会福祉協議会へ
- (亡妻志津子さん)
- 西 富 藤田 富雄さん
- (亡夫勝義さん)
- 富武士 丹野カスエさん
- (亡母秋江さん)
- 幌 岩 藤宮 利夫さん
- (亡父幸作さん)
- 富武士 桃井 幸正さん
- (亡母イトさん)
- 富 丘 藤田 徳さん

●佐呂間老人クラブへ

- (亡祖母フミさん)
- 宮前町 上城 均さん
- 富武士老人クラブへ
- (亡父幸作さん)
- 富武士 桃井 幸正さん
- 浜佐呂間老人クラブへ
- (亡母フジさん)
- 浜佐呂間 小栗 吉治さん

●北老人クラブへ

- (亡父松太郎さん)
- 北 野地 教明さん
- 富丘老人クラブへ
- (亡母イトさん)
- 富 丘 藤田 徳さん
- 富丘婦人会へ
- (亡母イトさん)
- 富 丘 藤田 徳さん

- 富丘自治会へ
- (亡母イトさん)
- 富 丘 藤田 徳さん
- 佐呂間町母子会へ
- (亡母イトさん)
- 富 丘 藤田 徳さん
- 身障者福祉協会佐呂間分会へ
- (亡母イトさん)
- 富 丘 藤田 徳さん

▼全快祝を廃して

- 社会福祉協議会へ
- 西 富 安藤 薫さん
- その他
- 社会福祉協議会へ
- 宮前町 佐藤 隆志さん
- 佐呂間町商工会 青年部家族一同
- 消防団ラッパ隊へ
- 永代町 吉野 正夫さん
- 特別養護老人ホームへ
- (寄付)
- 若 里 今井 成行さん
- (奉仕)
- 佐呂間 日赤奉仕団
- (慰問)
- 佐呂間高校つくしんぼサロマ
- 佐呂間 保育所